オール豊成のチームワークで『潤いと勢い』のある豊成小づくり

Connect

帯広市立豊成小学校
プロジェクト通信

メンター メンティ　外国語　キャリア　体力向上

平成30年5月14日
NO.1　　文責　小林

キャリア　高校生の姿から学ぶこと

**キャリアプランニング能力の育成を目指します。
高校生の姿から自分の未来像が描けるように・・・**

５月８日（火），工業高校の生徒さんと一緒にグラウンド設計を行いました。この授業は，高校生から設計の専門的な知識や技術を学びながら，「働くことの意義を考え，様々な職種や多様な生き方に関する情報を適切に取捨選択し，活用しながら未来を切り拓いていく力（キャリアプランニング能力）を育む」ことを目的としています。今回の授業で，子どもたちの職業選択の幅が広がり，高校生の姿に憧れや尊敬を抱くことで，将来，子どもたちが自らの未来像を描く際の役に立てば・・・と思っています。

豊成小学校の教育課程は，「キャリア教育」を軸として組まれています。キャリア教育とは，「一人一人の社会的・職業的自立に向け，必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して，キャリア発達を促す教育」を言い，「社会形成・人間形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題適応能力」「キャリアプランニング能力」を育んでいくものです。豊成小では，全教育課程にキャリア教育の視点をもって授業をすることができるように「キャリア教育の全体計画」を作成しています。

例えば，今回のグラウンド設計は，「専門的な技術や知識」「高校生の姿から自分のこれからにつながること」が学習の視点となり，教師はもちろん，子どもたちもこの視点をもって授業に臨むことで，授業後の感想が，「グラウンド設計が，楽しかったです。」ではなく，より具体的で自分事として考えられたものになってきます。そして，その経験の一つ一つが子どもたちの社会的・職業的自立に向けての財産となっていくのです。

豊成小学校のキャリア教育は，地域の皆さんの協力のもとに成り立っています。感謝の気持ちを忘れない事前指導もお願いします！

子どもたちの感想

ライン引きをやらせてもらった時，意外と難しくて大変でした。それをやっている高校生には，感謝したいです。

ぼくは，高校生の姿を見て，自分のやっていることへの責任感がすごいと思いました。ぼくには高１の兄がいます。お兄ちゃんも責任感がすごいので，これからはその姿を見ながら頑張っていきたいと思えました。

１組　男子

ぼくが，物の大きさなどを測る時は，定規とかを使って測っているけど，工業高校の皆さんが使っていたのは，もっと大規模な物で違いに驚きました。

ぼくが目指している夢や目標は，工業高校の皆さんが目指しているものとは違っているけど，努力していることは同じなので，ぼくも夢に向かって頑張りたいと思いました。

２組　男子

グラウンドの釘打ちをやってみて，釘がずれないように打つのがとても難しかったです。これを毎年６年生がやっていることを思うと，大切な仕事を任されているんだなあと改めて感じました。

高校生の姿を見て，とてもすてきだなと感じました。将来のことは，まだ分からないけど，誰に対しても優しい人になりたいと思いました。

３組　女子